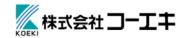
Technical Report



生ジョッキ缶の観察〈〈株式会社コーエキ〉〉

1017 EPMA/元素分析

 試料情報
 ASAHI スーパードライ 生ジョッキ缶

 装置名
 電子線マイクロアナライザー (EPMA-1610)

測定条件 加速電圧:10kV、観察倍率:5000 倍、蒸着:Au

備考



話題のスーパードライ生ジョッキ缶。細かい発泡の秘密が内面のコーティングにあるとのことで、観察で従来のコーティングと比較してみました。

○切断後の様子

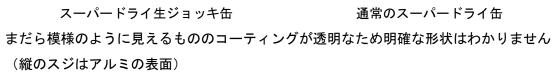


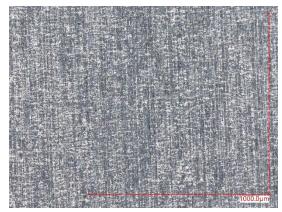
生ジョッキ缶の方が若干曇っ たように光沢が少ないようで す

測定結果

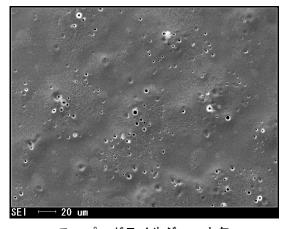
○マイクロスコープによる拡大観察

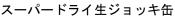


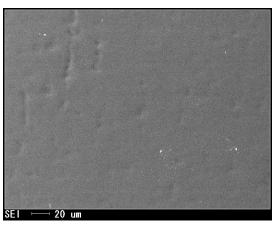




OSEM観察(1000倍)

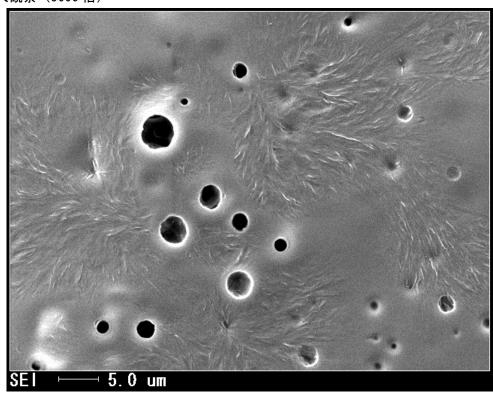




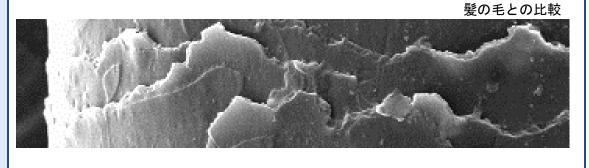


通常のスーパードライ缶

○拡大観察(5000倍)



生ジョッキ缶の内壁コーティングには小さな穴 $(0.5~\mu\text{m}\sim4~\mu\text{m}$: 平均 $2~\mu\text{m})$ [$1~\mu\text{m}=0.001$ mm] が多数認められました



株式会社コーエキ - 総合分析と評価 -

長野県岡谷市田中町三丁目 3-24 TEL 0266-23-2155 FAX 0266-23-0733